



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月29日

上場会社名 新明和工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7224 URL <https://www.shinmaywa.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 五十川 龍之  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部 広報・IR部長 (氏名) 実平 典子 (TEL) 0798-56-5002  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	147,087	△9.2	6,596	△18.3	6,796	△14.2	3,793	△24.3
2020年3月期第3四半期	162,022	4.8	8,072	4.8	7,925	△1.4	5,013	△9.6

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 4,631百万円(△8.3%) 2020年3月期第3四半期 5,051百万円(9.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	57.70	—
2020年3月期第3四半期	76.90	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	207,641	85,744	40.9
2020年3月期	214,157	83,680	38.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 84,925百万円 2020年3月期 82,946百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	66.00	—	21.00	87.00
2021年3月期	—	19.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	210,000	△7.6	8,500	△33.8	8,700	△29.7	5,000	△32.2
								76.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年3月期3Q	70,000,000株	2020年3月期	70,000,000株
2021年3月期3Q	4,255,469株	2020年3月期	4,254,897株
2021年3月期3Q	65,744,877株	2020年3月期3Q	65,188,085株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 経営成績に関する説明 .....	P. 2
(2) 財政状態に関する説明 .....	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 8
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	P. 8
(セグメント情報) .....	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大に伴い、あらゆる経済活動が制限されるなど、極めて厳しい状況で推移いたしました。

こうした中、当社グループは、3カ年の中期経営計画の最終年度を迎え、厳しい制約条件の下、当初掲げた諸施策について、可能な範囲で推進してまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い営業及び生産活動が低調に推移した影響により、受注高は149,547百万円(前年同期比11.2%減)、売上高は147,087百万円(同9.2%減)となりました。なお、当第3四半期末の受注残高は173,889百万円(同5.1%減)であります。

損益面は、営業利益は6,596百万円(同18.3%減)、経常利益は6,796百万円(同14.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,793百万円(同24.3%減)となりました。

当社グループのセグメント別経営成績の概要は次のとおりであります。

#### (航空機)

防衛省向けは、受注は減少し、売上は増加いたしました。

また、民需関連は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によりボーイング社向け製品の受注及び生産機数が減少したことなどから、受注、売上ともに減少いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は8,596百万円(前年同期比57.9%減)、売上高は21,608百万円(同26.3%減)となり、営業利益は40百万円(同97.1%減)となりました。

なお、当第3四半期末の受注残高は27,590百万円(同31.5%減)であります。

#### (特装車)

車体等の製造販売は、受注は減少し、売上は前年同期並みの水準となりました。

また、保守・修理事業は、受注、売上ともに増加いたしました。

このほか、林業用機械等は、受注、売上ともに減少いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は70,921百万円(前年同期比11.1%減)、売上高は68,266百万円(同0.6%減)となり、営業利益は5,121百万円(同2.0%増)となりました。

なお、当第3四半期末の受注残高は63,662百万円(同3.2%減)であります。

#### (産機・環境システム)

流体製品は、受注、売上ともに増加いたしました。

また、メカトロニクス製品は、自動電線処理機、真空製品、いずれも受注及び売上が減少した結果、分野全体でも受注、売上ともに減少いたしました。

このほか、環境関連事業は、受注は大口の新設案件を受注した前年同期に比べ減少し、売上も減少いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は27,273百万円(前年同期比14.3%減)、売上高は22,111百万円(同7.2%減)となり、営業利益は368百万円(同209.7%増)となりました。

なお、当第3四半期末の受注残高は25,381百万円(同6.0%増)であります。

#### (パーキングシステム)

機械式駐車設備は、受注は前年同期並みの水準となり、売上は減少いたしました。

また、航空旅客搭乗橋は、受注は増加し、売上は減少いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は28,097百万円(前年同期比2.1%増)、売上高は24,309百万円(同11.5%減)となり、営業利益は2,388百万円(同6.5%減)となりました。

なお、当第3四半期末の受注残高は43,799百万円(同5.2%増)であります。

(その他)

建設事業において、受注は大口案件の寄与等により増加したものの、売上が減少した結果、当セグメントの受注高は14,657百万円(前年同期比67.7%増)、売上高は10,792百万円(同15.3%減)となり、営業利益は720百万円(同17.6%減)となりました。

なお、当第3四半期末の受注残高は13,455百万円(同16.5%増)であります。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末における総資産は、たな卸資産は増加したものの、売上債権を回収したことなどにより前連結会計年度末に比べて6,516百万円減少し207,641百万円となりました。負債は、短期借入金が増加したものの、仕入債務の減少などにより、前連結会計年度末に比べて8,580百万円減少し121,897百万円となりました。純資産は、配当金の支払いはあったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことなどにより前連結会計年度末に比べて2,063百万円増加し85,744百万円となりました。これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の38.7%から40.9%に上昇いたしました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年7月31日に公表した業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,342	20,948
受取手形及び売掛金	67,223	52,880
電子記録債権	14,532	14,306
商品及び製品	3,808	4,059
仕掛品	18,562	24,146
原材料及び貯蔵品	20,127	20,195
その他	3,932	3,045
貸倒引当金	△71	△61
流動資産合計	147,457	139,520
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,306	18,398
その他（純額）	22,765	20,275
有形固定資産合計	38,072	38,674
無形固定資産		
	2,550	3,530
投資その他の資産		
その他	26,109	25,945
貸倒引当金	△32	△30
投資その他の資産合計	26,077	25,915
固定資産合計	66,700	68,120
資産合計	214,157	207,641

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,464	23,050
1年内償還予定の社債	800	800
短期借入金	1,946	6,109
1年内返済予定の長期借入金	2,433	2,230
未払法人税等	2,366	406
工事損失引当金	3,961	3,391
その他	24,551	21,456
流動負債合計	63,524	57,445
固定負債		
社債	3,200	2,600
長期借入金	49,187	47,278
退職給付に係る負債	12,772	12,843
その他	1,793	1,730
固定負債合計	66,953	64,451
負債合計	130,477	121,897
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,981	15,981
資本剰余金	15,780	15,780
利益剰余金	58,587	59,751
自己株式	△6,081	△6,081
株主資本合計	84,268	85,432
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	541	1,049
土地再評価差額金	△376	△376
為替換算調整勘定	△48	△95
退職給付に係る調整累計額	△1,439	△1,085
その他の包括利益累計額合計	△1,322	△507
非支配株主持分	734	819
純資産合計	83,680	85,744
負債純資産合計	214,157	207,641

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	162,022	147,087
売上原価	137,509	124,194
売上総利益	24,512	22,893
販売費及び一般管理費	16,439	16,296
営業利益	8,072	6,596
営業外収益		
受取利息	42	43
受取配当金	141	305
持分法による投資利益	299	161
保険配当金	152	156
受取保険金	166	—
その他	82	187
営業外収益合計	885	854
営業外費用		
支払利息	225	157
為替差損	141	295
休止固定資産費用	21	41
借入手数料	372	46
債権流動化費用	197	26
その他	75	87
営業外費用合計	1,033	654
経常利益	7,925	6,796
特別利益		
固定資産売却益	17	—
投資有価証券売却益	—	57
負ののれん発生益	—	90
特別利益合計	17	148
特別損失		
固定資産売却損	14	—
固定資産処分損	340	523
新型コロナウイルス感染症による損失	—	613
特別損失合計	355	1,136
税金等調整前四半期純利益	7,587	5,808
法人税、住民税及び事業税	1,412	1,206
法人税等調整額	1,166	745
法人税等合計	2,578	1,952
四半期純利益	5,008	3,855
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4	62
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,013	3,793



## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	5,008	3,855
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	55	508
為替換算調整勘定	△111	△68
退職給付に係る調整額	183	354
持分法適用会社に対する持分相当額	△84	△18
その他の包括利益合計	42	775
四半期包括利益	5,051	4,631
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,106	4,609
非支配株主に係る四半期包括利益	△55	22

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	航空機	特装車	産機・環境 システム	パーキング システム	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	29,315	68,662	23,833	27,466	149,277	12,744	162,022	—	162,022
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	4	5	26	36	1,522	1,559	△1,559	—
計	29,315	68,666	23,839	27,493	149,314	14,266	163,581	△1,559	162,022
セグメント利益	1,385	5,018	118	2,555	9,079	874	9,953	△1,881	8,072

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業、不動産事業、ソフトウェア事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,881百万円には、セグメント間取引消去△7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,873百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的試験研究費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	航空機	特装車	産機・環境 システム	パーキング システム	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	21,608	68,266	22,111	24,309	136,295	10,792	147,087	—	147,087
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	5	5	16	27	1,661	1,688	△1,688	—
計	21,608	68,271	22,117	24,325	136,322	12,453	148,776	△1,688	147,087
セグメント利益	40	5,121	368	2,388	7,918	720	8,639	△2,043	6,596

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業、不動産事業、ソフトウェア事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,043百万円には、セグメント間取引消去△36百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,006百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的試験研究費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「パーキングシステム」セグメントにおいて、ShinMaywa Aerobridge Singapore Pte. Ltd.、MKB Engineering Sdn. Bhd. の株式を取得し、連結子会社としております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において、1,213百万円であります。